

Q インフルエンザはなぜ毎年流行するの？

落第忍者乱太郎の 学問のススメ



© 尼子騒兵衛、朝日小学生新聞

乱太郎 同じ組のしんべエがすごい熱を出したんだ。インフルエンザかな。

A そうかもしれない。インフルエンザは風邪と同じような鼻水やくしゃみ、のどの痛み、せきだけでなく、38度以上の高熱や頭、関節、筋肉の痛みといった全身症状が特徴です。日本では例年11月から翌年の4月ごろまで流行し、短期間に多くの人にとつりま

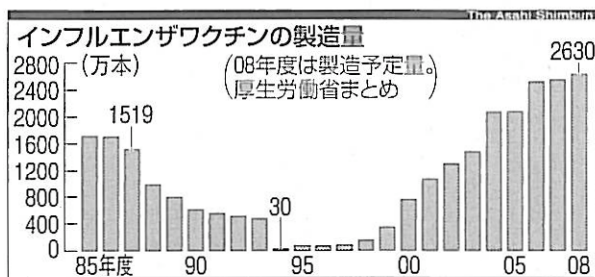
す。乱太郎 どうして毎年流行するの？

A インフルエンザは直径1万分の1ほどのウイルスによって引き起こされます。人体には免疫という機能が、ウイルスのような病原体に1度感染する

と、次からは抗体をつくって感染を防いだり、回復を早めたりします。しかし、インフルエンザウイルスは毎年変化するため、免疫がうまく働きません。

乱太郎 予防接種を受けるとうつらないんだよ。

A 予防接種で打つワクチンは、病気になる弱いウイルスであらかじめ抗体をつくっておくものです。ただ、そのウイルスが実際に流行するものと同じかどうかはわからず、完全に感染を防ぐことはできません。かつては小中学校で子どもたちが集団接種を受けていましたが、流行防止の効



果がはっきりしないことから、87年から保護者の同意が必要になりました。副作用で死亡したとする訴訟も起こされて接種件数は減り、94年からは任意に。ワクチンの生産量もそれに合わせて減りました。しかし、01年には65歳以上の人が予防接種法の対象になり、任意で接種を受ける子どもも増えて再び生産量が増加します。グラフ。

A ウイルスが変化するからです

ワクチンは重症になるのを防ぐとされ、特に抵抗力の弱い小さな子ども(1〜5歳)や高齢者で効果を示すという研究が報告されています。

新潟県上越市の塚田こども医院では、この時期、1日100人程度の子どものちが接種に訪れます。細い針を使い、手際よく済ませようとしますが、泣いてしまつ子も多いようです。

塚田次郎院長は「集団生活でうつる可能性が高い保育園や幼稚園に通う子、それに受験生には特に接種をすすめます」と話しています。

子どもの接種は自己負担で1回2千円〜5千円がかかりますが、補助金を出す自治体も増えていきます。

乱太郎 もう流行してるの？
A 今年はまだのようですが、すでに、はやって学

校もあります。

堺市立東百舌鳥小では10月に3年の1クラスで10人ほどがインフルエンザにかかり、3日間学級閉鎖をしました。河合延明教頭は「まだ寒くなっていないのに、前触れもなく驚きました。もうみんな元気になるので、手洗いとうがいと呼びかけています」と話しています。

よく眠り、バランスよく栄養をとることや、部屋を乾燥させないことも予防によいそうです。うつさないよう、せきやくしゃみが出る人は、マスクやハンカチをあてることも大切です。

(星賀亨弘)



NIE 教育に新聞を